

地域猫活動のすすめ



野良猫に関わる問題を
地域で解決します

廿日市市 人権・市民生活課

野良猫が引き起こす問題

野良猫によるふん尿被害、発情時の鳴き声やケンカ、空き家などで生まれる子猫、猫好きな人と嫌いな人とのトラブルなど、いま地域を悩ませていることの一つに野良猫問題があります。

野良猫に迷惑している人、かわいそうな猫がいて心を痛めている人、野良猫にエサをやっている人、それぞれ思いは異なりますが、共通するのは「野良猫を減らしたい」ことではないでしょうか。



地域の合意

野良猫がいったん地域からいなくなっても、新たな猫が入ってきて繁殖して増え、すぐに元の状態に戻るため、被害は一向に減りません。生まれる猫の数を減らすことで問題点の多くが解決します。

人権・市民生活課の職員が町内会の話し合いに同席して、具体的な方法などを説明します。



飼い主のいない猫を、
殺しても傷つけても
大きな犯罪です。

身近に暮らす人たちと、
同じ目的に向かいます



動物愛護法

殺傷・衰弱虐待禁止

愛護動物を殺す傷つける **殺傷犯罪**

5年以下の懲役又は**500万円**以下の罰金

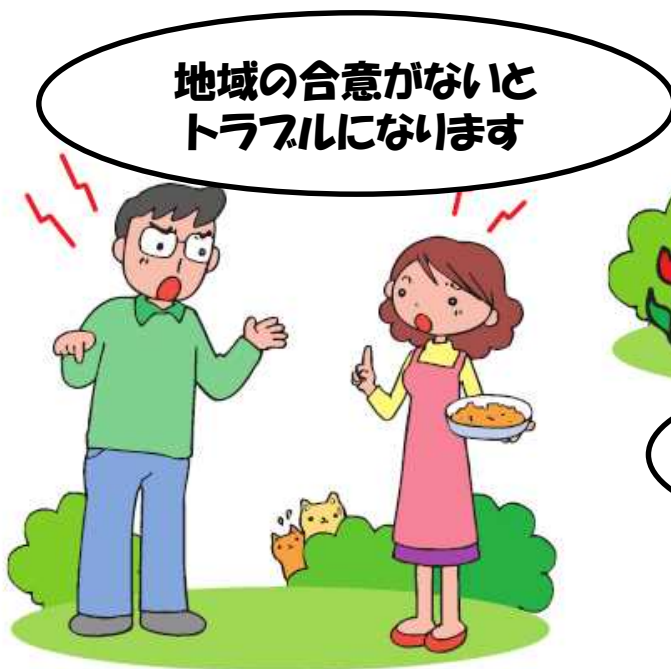
飼い主の暴行や衰弱させるなどの **虐待犯罪**

1年以下の懲役又は**100万円**以下の罰金

野良猫に不妊去勢手術をして、これ以上増やさないようにします。

登録を受けた地域猫活動団体からの申請に基づき、廿日市市では手術費用を一部補助します。

野良猫の数が減り、糞尿の片づけをすることで、地域環境の保全にも役立ちます。



TNR トラップ・ニューター・リターン

捕まえて 不妊去勢手術をし 元の場所に戻す

野良猫は警戒心の強い動物です。手術のための捕獲には、エサやりさんの協力が必要です。

捕獲箱の設置場所・エサの種類・時間帯は、エサやりさんと相談し、近隣へのお知らせをしてから捕獲します。



捕獲の時間と場所が決まったら捕獲箱を仕掛け、近くで見張ります。

捕まった猫はパニックになり暴れます。すぐに布などで捕獲箱を覆って落ち着かせます。

猫の捕獲には地域の人が協力して、搬送する車を出す人を決めておきます。

車の荷台にはブルーシートやペットシーツを敷きます。

絶対に、ケージを仕掛けっぱなしで
放置しないで!!

猫が捕まったら、
すぐに布などでケージごと包んで!!

はじめは、
みなさんひと苦勞!!

町内のどなたか、
手を貸して!!

協力し合って、
お願いします!!

町内の搬送ボランティアさんと、
捕獲ボランティアさん



手術が済んでいる事の目印に、耳をV字にカットします。

手術の当日はケージのまま(エサ水不要)、どこかで一晩過ごさせ、翌日(麻酔から完全に覚めてから)元いた場所に放します。

しばらくの間、テリトリーの安全な場所で傷をいやして出てこないこともあります。手術後は穏やかになります。



手術の目印...

耳カット

猫が安心できる方向へ!!



エサやりのルールとトイレ

エサは決まった時間と場所であげて、食べ終わったら片付けます。

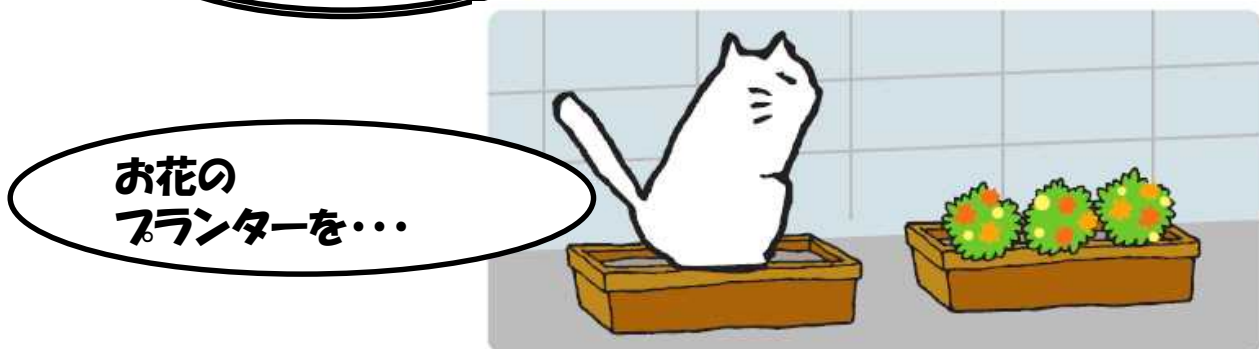
エサは登録している猫が食べ残さない適量を与えます。

置きエサは、カラスや虫が集まったり他所の野良猫を呼ぶ原因になるので禁止します。

エサを与えないと、家に侵入して食べ物をあさったり、他所の地域に移動して被害を広げてしまうことになります。

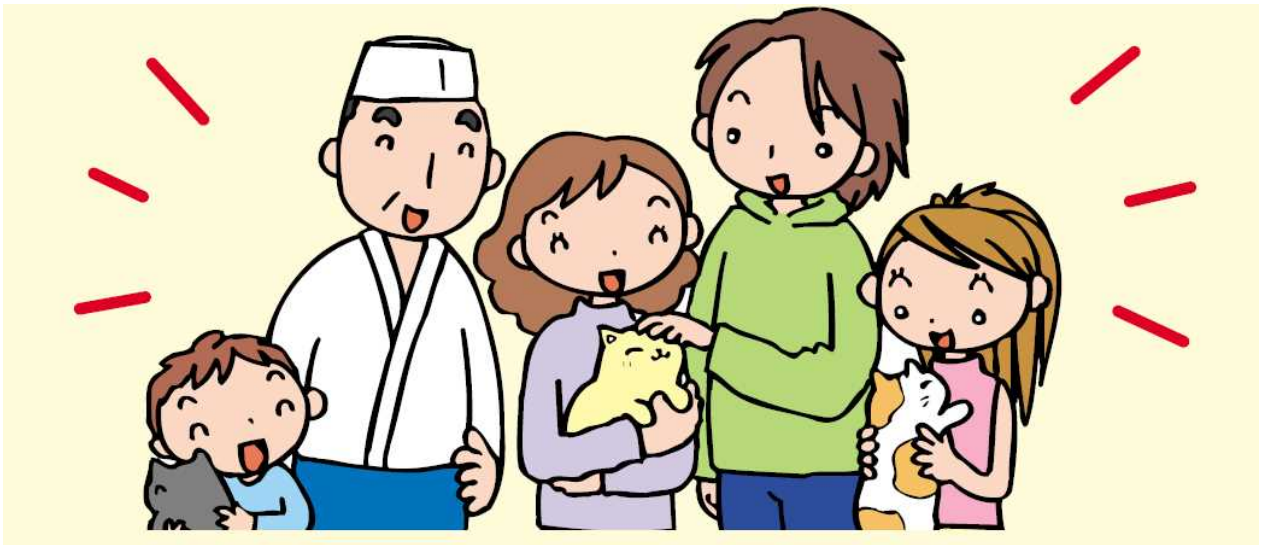
食事の後、比較的近くの落ち着ける場所で、土や砂のあるところにします。この性質を利用して、トイレを工夫します。

簡単な方法は、物陰に工事用の砂や園芸用の土などをほんの少し盛り、猫の糞で臭い付けをします。マタタビの粉を混ぜても猫を誘えます。



地域猫活動の効果

- 不妊去勢手術により
 - ・ 子猫が生まれなくなります。
 - ・ 発情の鳴き声やケンカが無くなります。
 - ・ 尿の臭いが薄くなります。
- エサやりルールを決めることで、エサの散乱などが改善され、環境がよくなります。
- トイレを設置することで、ふん尿の被害が少なくなります。
- 動物虐待を防ぎます。
- 地域猫をきっかけに、地域のコミュニケーションが活性化します。



野良猫を増やさないために 猫の飼い主は次のことを守ってください。

1 室内飼育をする

猫は環境を整えれば、屋内で十分に暮らせます。交通事故や感染症から守るため、飼い猫は屋内で飼育しましょう。

2 不妊去勢手術をする。

手術をしないと、野良猫が増える原因になります。責任を持ってない子猫を生ませないで。

3 首輪をして、飼い主の表示をする。

飼い猫が迷子になるのを防ぎましょう。

4 捨てない。(終生飼養する)

一度飼いはじめたら、一生飼い続けることが飼い主の責任です。猫を捨てることは犯罪行為です。どうしても飼えない場合は、新しい飼い主を探してください。



もともと野良猫は、飼い猫や飼い猫が生んだ猫です。

まずは屋内飼育から実践してみましょう。



人も動物も共生できる町に



「地域猫活動」とは、野良猫問題を地域の生活環境問題としてとらえ、住民・ボランティア・行政が協働で問題を解決する活動です。

具体的には

- 1 野良猫に不妊去勢手術を行い、繁殖を制限し、1代限りとする。
- 2 ゴミあさをさせないよう時間を決めてエサを与え、片づけを行う。
- 3 猫用トイレなどを設置して、ふん尿の被害対策を行う。

野良猫の寿命は4～5年と短く、この活動を続けていくことで段々と猫の数が減り、ふん尿被害も減ってきます。今いる野良猫を駆除しても、よそから別の野良猫が流入してくるため、手術した野良猫にテリトリーを守らせ、流入を防ぎます。手術済みの猫は発情の鳴き声やケンカがなくなり、おしっこのおいも薄くなります。

「地域猫活動」に取り組む団体には、廿日市市が手術費用の一部補助等の支援を行います。

お問い合わせ 廿日市市人権・市民生活課 廿日市市下平良一丁目11番1号
電話：0829-30-9147 FAX：0829-31-0133